

◎基本情報

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課 企画総務部 特定事業推進課 企画総務部 情報化推進室		
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市総合戦略 四国のゲートウェイ推進プロジェクト 事業計画		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成	29年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	4	にぎわいと交流の創出				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市民・近隣住民・関西方面からの観光客														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	名実ともに鳴門市が四国の玄関口となるべく、滞留施設の配置や四国内外から集客できるイベントの開催などにより、四国の玄関口としてのブランド化を図る。 「人が集い 出会い 交流し 地域に広がる 笑顔と元気うずまく 道の駅なんと」をコンセプトとした、道の駅の整備を図る。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	①四国のゲートウェイとなるため、交流拠点施設「道の駅なんと(仮称)」の整備。 ②県内外からの集客を図るため、四国の食や祭り、光のアートイルミネーション等にかかるイベントの実施。 ③四国のゲートウェイとして、県内外に情報発信を行うため注目度の高いCM・動画を作成する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流人口の増加数</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>10,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	交流人口の増加数	8,000	8,000	9,000	9,000	10,000	人
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
交流人口の増加数	8,000	8,000	9,000	9,000	10,000	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①交流拠点施設の整備に係る基本計画の策定、また、対話型市場調査を実施するとともに、セミナーを開催することで「道の駅なんと(仮称)」の認知拡大、市場性の把握、民間ノウハウの情報収集等を行った。 ②「四国の肉グルメ&祭りフェス」や「光のアート・ゲートイルミ」など県内外からの集客を図るイベントを行った。 ③鳴門市プロモーション動画「Beyond Naruto」を作成し、県内外に情報発信を行った。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 施策実施数	4	3	3	3	3	個
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	交流人口の増加数	38,000	28,000	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)		350.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		39,000	0	0	34,000	7,000	80,000
		補正予算額		0	0	0	19,000	0	19,000
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		39,000	0	0	53,000	7,000	99,000
		決算額		24,692	0	0	34,368	0	59,060
		繰越額		0	0	0	16,000	7,000	23,000
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		2.2	0.0	16,106		75,166			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：四国のゲートウェイ推進事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	68,667	59,060	201,380	未定	未定
	うち一般財源	34,334	0	180,380	未定	未定
	人件費	7,234	16,106	7,321	未定	未定
	総事業費	75,901	75,166	208,701	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		大型イベントの実施により県内外から多くの集客があった、また「道の駅なると(仮称)」の基本計画を策定し、事業の市場性や実現可能性を把握することができた。
	効率性	A:効率的だった		大型イベントを実施するにあたり、関係者等との調整を行いながら実施ができた。また「道の駅なると(仮称)」の整備に関する基本協定書を国土交通省との間で締結することができた。
②成果に対する評価	指標名	交流人口の増加数		大型イベントの実施、集客：・四国の肉グルメ&祭りフェス→24,000人・イルミネーションイベント→4,000人 鳴門プロモーション：CM動画作成 道の駅なると(仮称)の整備：基本計画の策定基本協定の締結。 ・対話型市場調査等の実施。
	目標	8,000	人	
	実績	28,000	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		大型イベントの実施・プロモーション動画の発信等により、四国の玄関口としてのブランド化・定着化を図ることができた。今後は更なる定着化に向けた手法を引き続き検討していく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	集客のための各イベントについては、費用対効果などの観点から今後も継続的に取り組んでいく事業と、縮小する事業の見極めを行う必要がある。また、道の駅の整備については国と一体型の整備であることやJA大津松茂産直施設が隣接することを踏まえ、関係団体と密に調整を取りながら進めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	①交流拠点施設となる道の駅の整備を進める。 ②集客のための大型イベントを開催する。 ③県内外へ注目度の高い場情報発信や、広報を行う。			
	R2年度	R1年度と同様			